

大脇寺・今水寺・富賀寺の歴史

<参考> 新城市誌, 新城文化財案内, 鳳来寺山関係年譜, 富賀寺の記録より

- 701年(大宝元) 富賀寺創建 行基開祖 小堂を建立(真言宗高野派)
- 703年(大宝3) 鳳来寺創建 利修^{りしゅう}仙人開山
- 809年(大同4) 八名井吉祥山腹に今水寺建立される
- 816年(弘仁7) **空海, 高野山に真言宗を開く**
- 938年(天慶元) 太政大臣藤原忠平が富賀寺の本堂・中堂・十二坊等を建立
- 1148年(久安4) 今水寺の慶寛法印が松鷲山花井寺(豊川市)を創建
- 1171年(嘉応3) 大脇寺の薬師如来を仏師頼与が彫刻した**
- 1227年(安貞1) 道元, 永平寺を開く 曹洞宗を伝える
-) **このころから新城地方にも曹洞宗の寺院が多くなる**
- 1338年(延元3) 足利尊氏, 富賀寺を再興, 堂舎9, 坊舎18ヶ所を建立
三千仏名宝塔図^{さんぜんぶつみやうほうとうず}を寄進
- 1382年(弘和2) 富賀寺の大般若経の写本ができた
- 1460年(寛政元) 大洞山泉龍院が創建された
- 1498年(明応7) 大地震がおこり, 神社・仏閣が多く倒壊。
- 1524年(大永4) 松鷲山花井寺(豊川市)が曹洞宗に改宗(1148年参照)
- 1530年(享禄3) 松平清康, 今水寺で休息後, 富賀寺に本陣を置き, 宇利城を攻める
- 1552年(天文21) 今川義元, 富賀寺へ所領安堵状
- 1560年(永禄3) 桶狭間の戦い このころ菅沼定盈, 今水寺延寿坊にて手習い
- 1561年(永禄4) 今川氏真, 富賀寺へ所領安堵状
- 1571年(元亀2) 菅沼定盈, 信玄に攻められ西郷に退くが, 野田城修復後戻る
- 1572年(元亀3) 家康, 三方ヶ原で信玄に敗れる
鳳来寺衆徒御陣見舞い, 甲冑をつけ御本陣相勤む
- 1573年(元亀4) 信玄, 野田城を攻略する 富賀寺全焼(住職:近藤忠用次男)
4月12日 甲府への帰途, 信州伊奈郡駒場にて死亡
- 1575年(天正3) 長篠・設楽原の戦い
このころ今水寺の12坊は衰退し, 延寿院のみ
- 1579年(天正7) 野田城主, 定盈 中宇利八幡神社創建
- 1589年(天正17) 今水寺領検地(源頼朝, 今川義元の名) 翌年太閤検地
- 1590年(天正18) 菅沼定盈 上野国阿保へ移封される 1万石
- 1603年(慶長8) 家康, 征夷大將軍に
**今水寺 延寿院, 文禄年間(1592~1596)か慶長の初年ころに廃滅
徳川時代まで残ったのは, 熊野三社と観音堂のみ**
- 1755年(宝暦5) 大洞山泉龍院が今水寺の再興を図るも, 富賀寺に断られる
- 1828年(文政11) 富賀寺が今水寺跡に**延寿院を再建**
- 1873年(明治6) 今水寺 明治維新で**廃却**となる
- 1931年(昭和6) 庭野大脇寺の薬師如来座像が国宝に指定された。
- 1942年(昭和17) **大脇寺が廃寺**となる。薬師如来は林光寺所蔵となる。